

家村ゼミ展 2017

## 高柳恵里 × 高山陽介 × 千葉正也

昨年度、教授に家村珠代インディペンデントキュレーターが就任し初めてとなる本展は、招聘された作家間で構想を交換することで、事後的にテーマ性が生まれてくる展覧会の在り方をめざすものです。

会場 多摩美術大学 八王子キャンパス（東京都八王子市鍵水 2-1723）

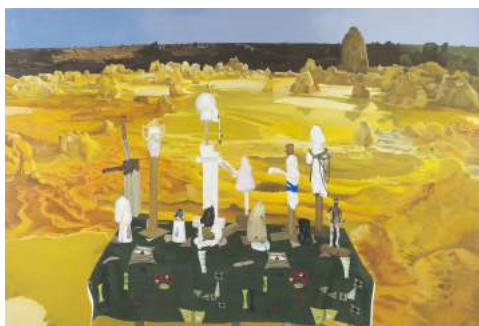
アートテーク・ギャラリー 102, 103, 104, 105

会期 2017年10月13日（金）～10月26日（木）（15・22日は休館）



多摩美術大学美術学部芸術学科「展覧会設計ゼミ 2017」では、『高柳恵里 × 高山陽介 × 千葉正也』展を開催します。

本展は、招聘された作家間で構想を交換することで、事後的にテーマ性が生まれてくる展覧会の在り方をめざすものです。これは、企画者が先行してテーマを決め、それに添って作家や作品を集め展示するという一般的なテーマ展ではありません。また、作家同士の日常のつながりの中から自主的に企画するグループ展でもありません。それらとは異なる新しい展覧会やキュレーションの在り方を模索する企画です。



モノやコトに徹底的に真摯に対峙すること。そして最小限ともいえる行為を施すことで、既存の価値や認識をほんの少しずらす、そんな作品を制作する高柳恵里。

塗料を塗り重ねた艶やかな光沢のある表面に文様を施した作品。あるいは荒々しくノミで削った痕跡が残る表面に対し、背面には日常的物質が介入する作品など、日常的な営みと作品制作の行為とを往来する高山陽介。

登場人物や舞台を実際のセットとしてつくり、それを絵画という空間になぞりなおすことで、純粋な虚構の世界をつくり、一見無秩序に感じる画面にアレゴリーを孕む千葉正也。

全く異なるベクトルをもつように思える3人の作家を選びました。



2017年4月、作家を招き顔合わせと会場の下見の機会を設けました。どこから噛み合わせたら良いのか、手探りの会話が続き、居合わせた誰もがたくさんの「？」を持ち帰りました。幾つもの対話を経て、3人の作品や思考が混ざり合い、化学反応が起きるためには、そのプラットフォームはどうあるべきなのか。その模索の末に、思いがけない、誰にとっても発見に満ちた展覧会になるよう、大学という場で、手探りを続けます。

### トークセッション

出品作家：高柳恵里、高山陽介、千葉正也

ゲスト：成相肇（東京ステーションギャラリー学芸員・評論家）、中尾拓哉（美術評論家）

日時：10月14日（土）14:00～16:00

会場：多摩美術大学 八王子キャンパス

\* 事前申し込み制・先着順。

\* 受付はすべて公式 HP 内イベントページにて行います。

\* 詳細は随時 HP で公開致します。

# 出品作家紹介

## 高柳 恵里 /ERI TAKAYANAGI

1962年神奈川県生まれ。1988年多摩美術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻油絵研究領域修了。

主な展覧会に「MOT コレクション つくる、つかう、つかまえる ーいくつかの彫刻から」東京都現代美術館（東京、2013）、「近作展 28 高柳恵里」国立国際美術館（大阪、2003）、「心の在り処ー日本の現代美術ー」ルードヴィヒ美術館（ブタペスト、2003）／モスクワ市現代美術館（モスクワ、2003）、「美術館を読む解くー表慶館と現代の美術」東京国立博物館（東京、2001）、「MOT アニュアル 1999 ひそやかなラディカリズム」東京都現代美術館（東京、1999）など。



《再注文クラフトロール紙》2017 クラフトロール紙、梱包材  
《DVDレコーダー》2017 DVDレコーダー、梱包材



《Salad》2011 インクジェットプリント

## 高山 陽介 /YOSUKE TAKAYAMA

1980年群馬県生まれ。2007年多摩美術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。

主な展覧会に「SAYONARA JUPITER」356MISSION（ロサンゼルス、2017）、「Yosuke Takayama at THE STEAK HOUSE DOSKOI」XYZ collective（東京、2016）、「コレクション+行為と痕跡」アーツ前橋（群馬、2016）、「囚われ、脱獄、囚われ、脱獄」駒込倉庫（東京、2016）、「公開制作」府中市美術館（東京、2015）、「UNDER35 GALLERY」Bank ART Studio NYK（神奈川、2013）、「働く私、気まぐれ彼女のスイートギフト」ギャラリー・ハシモト（東京、2012）など。



《無題 (THE KISS#2)》2017 樟、塗料、空き缶



展示風景《中庭》CAPSULE(東京)2016 撮影:長塚秀人

## 千葉 正也 /MASAYA CHIBA

1980年神奈川県生まれ。2005年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業。

主な展覧会に「Pork Park」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京、2016）、「Discordant Harmony」国立台北芸術大学（台北、2016）、「Mono No Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」エルミタージュ美術館（サンクトペテルブルク、2013）、「2013 California-Pacific Triennial」オレンジ・カウンティ美術館（ニューポートビーチ、2013）、「Sculpture by Other Means」ONE AND J. GALLERY（ソウル、2012）、「Hello! MIHO KANNO」東京ワンダーサイト渋谷（東京、2009）、「三ツ塚」シュウゴアーツ（東京、2008）など。



《燃える家》2003 油彩

copyright the artist courtesy of ShugoArts



《平和な村》2007 油彩

copyright the artist courtesy of ShugoArts

タイトル	『高柳恵里×高山陽介×千葉正也』家村ゼミ展 2017
読み方	たかやなぎえり たかやまようすけ ちばまさや いえむらせみてん にせんじゅうなな
会期	2017年10月13日(金) - 10月26日(木)
会場	多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー 102, 103, 104, 105 〒192-0394 東京都八王子市鎌水 2-1723
主催	多摩美術大学美術学部芸術学科 展覧会設計ゼミ
開館時間	10:00 - 18:00
休館日	10月15日(日)・22日(日)
アクセス	橋本駅より：北口 6 番乗り場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」約 8 分 八王子駅より：南口 5 番乗り場より京王バス「急行多摩美術大学行」約 20 分
観覧料	無料
お問い合わせ	042-679-5627 (多摩美術大学美術学部芸術学科研究室) tenrankai2017@gmail.com
ホームページ	<a href="http://www.tamabi.ac.jp/geigaku/iemuraseminar/2017/">http://www.tamabi.ac.jp/geigaku/iemuraseminar/2017/</a>
イベント	トークセッション 出品作家：高柳恵里、高山陽介、千葉正也 ゲスト：成相肇（東京ステーションギャラリー学芸員・評論家）、中尾拓哉（美術評論家） 日時：10月14日(土) 14:00～16:00 会場：多摩美術大学 八王子キャンパス トークセッションの場所は決定し次第HP内でお知らせ致します。 *要申し込み。詳細は公式HP内イベントページをご確認ください。